

評価者	市民生活部長	齋藤 和徳
評価者	農業委員会事務局長	鈴木 康之

◎ 評価対象分野・施策の方針・目標とすべきまちの姿

総合計画上の位置付け	分野	産業振興	施策の方針	農業・漁業の振興
目標とすべきまちの姿	<p>農業では「人・農地プラン」により、新たな担い手や後継者が育成・確保され、将来にわたり安定的に農業が営まれています。また、遊休農地の解消に努め、農産物の生産量及び市内での消費が高まっています。</p> <p>漁業では漁業施設の改善により、安全・安心な就労環境の改善が進み、新たな担い手や後継者が育成・確保され、将来にわたり安定的に漁業が営まれています。また、つくり育てる漁業の推進による漁獲の拡大や6次産業化への取組が進み、市内への新鮮な魚介類や水産加工品が安定的に供給されています。</p> <p>農水産物のブランド力向上に向けた取組により、鎌倉ブランドの農水産物は、市民だけでなく鎌倉を訪れる観光客にも普及が進んでいます。</p>			

1 市民意識調査結果

(1) 認知度(回答者全体に占める割合)

取組を知らない・わからないと答えた人の割合	令和元年度(2019年度)	25.3%	平成30年度(2018年度)	26.3%	平成29年度(2017年度)	23.4%
	平成28年度(2016年度)	22.7%	平成27年度(2015年度)	23.9%		

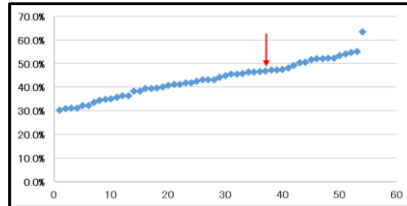
(2) 妥当性

令和元年度(2019年度)

お金の使い方

仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	2.2%	2.4%	1.0%
	ちょうどよい	2.4%	46.9%	1.3%
	効果不十分	2.7%	3.0%	7.2%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

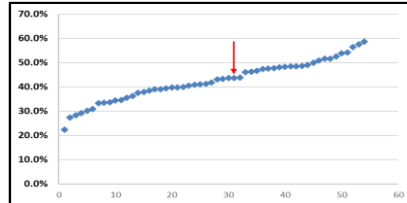


平成30年度(2018年度)

お金の使い方

仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	4.1%	2.6%	0.3%
	ちょうどよい	2.3%	43.6%	1.2%
	効果不十分	3.3%	3.6%	8.1%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

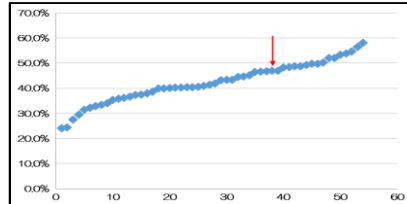


平成29年度(2017年度)

お金の使い方

仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	2.8%	2.1%	0.7%
	ちょうどよい	2.6%	46.9%	1.4%
	効果不十分	2.8%	3.0%	10.0%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)

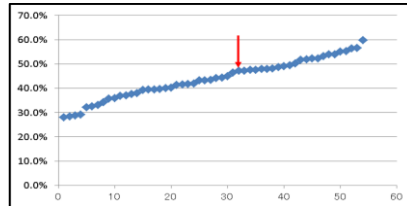


平成28年度(2016年度)

お金の使い方

仕事の効果		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
	必要以上の効果	3.9%	3.2%	0.5%
	ちょうどよい	1.8%	47.1%	0.7%
	効果不十分	2.8%	2.7%	9.1%

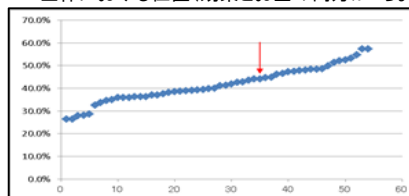
全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



平成27年度(2015年度)

		お金の使い方		
		使いすぎ	ちょうどよい	足りない
仕事の効果	必要以上の効果	2.7%	2.7%	0.7%
	ちょうどよい	3.3%	44.1%	1.1%
	効果不十分	3.3%	3.4%	8.0%

全体における位置(効果とお金の両方が「ちょうどよい」の割合)



(3) 今後の進め方

	もっと力を入れるべき	現状のままで良い	力を入れなくて良い	無回答
令和元年度(2019年度)	15.0%	47.2%	6.6%	31.2%
平成30年度(2018年度)	14.7%	48.3%	6.4%	30.6%
平成29年度(2017年度)	22.0%	45.3%	4.7%	27.9%
平成28年度(2016年度)	18.1%	47.4%	6.6%	27.9%
平成27年度(2015年度)	16.9%	46.2%	6.4%	30.5%

2 内部評価

(1) 令和元年度(2019年度)の目標

◎市民生活部

- ①農業振興地域内にある農道2路線の土質調査を実施する。作物の品質管理体制の強化を進め、ブランドの価値の向上を目指す。(市民-22)
- ②土地所有者が運営する新たな市民農園の開設に取り組んでいく。(市民-23)
- ③本市の水産業の振興を図ることを目的とした鎌倉市水産業振興計画を策定する。(市民-24)
- ④機能保全計画に基づいて、漁港の適正な維持管理を図る。(市民-25)
- ⑤鎌倉地域の漁業支援施設の整備に向けて、水産庁等と協議を進めるとともに、地元への説明を行う。(市民-26)

◎農業委員会事務局

- ①農地管理システムを活用し、利用状況調査を実施し、遊休農地の把握を行う。(農業-01)
- ②遊休農地の解消においては、農業委員会・さがみ農業協同組合・市で構成した鎌倉市遊休農地対策協議会が主体となり、遊休農地の復元作業を行う。(農業-01)
- ③違反転用等の農地法違反対策として県、市の関係課と連携を図りながら、定期的に農地パトロールを行い、使用者・地権者に指導を行う。(農業-01)

(2) 目標とすべきまちの姿と令和元年度(2019年度)の目標との関連性

◎市民生活部

- ①農地と消費地が近接している都市農業として、将来にわたり安定的に農業が営まれることを目指し、農業振興地域整備計画に基づく農道整備やブランドの価値の向上を目指す。(市民-22)
- ②将来にわたり安定的に本市の農業が営まれていくように、市民農園を開設し、市民に農業に対する理解を深めてもらう。(市民-23)
- ③就労環境の改善、新たな担い手や後継者の確保、漁獲の拡大などの課題に取り組み、本市の水産業の振興を図る「鎌倉市水産業振興計画」を策定し、市内に安定的に水産物が供給されることを目指す。(市民-24)
- ④腰越漁港機能保全計画に基づく施設の維持管理により、安全・安心な就労環境の改善が進み、新たな担い手や後継者が育成・確保され将来にわたり安定的に漁業が営まれることとなる。(市民-25)
- ⑤鎌倉地域の漁業支援施設を整備を進めることで、安全・安心な就労環境の改善が進み、新たな担い手や後継者が育成・確保され、将来にわたり安定的に漁業が営まれることとなる。(市民-26)

◎農業委員会事務局

- ①②利用状況調査により遊休農地を把握し、鎌倉市遊休農地解消対策協議会で復元し、新たな担い手への貸し借りへ結びつけることで、農産物の生産量及び市内での消費を高める。(農業-01)
- ③農地法違反を是正し、農地へ復元することで、農産物の生産量及び市内での消費を高める。(農業-01)

(3) 事業評価結果一覧表(網掛けは重点事業)

評価対象事業名		決算値(千円)		職員数(人)		法定受託 事務	今後の 方向性	
整理番号	事業名	令和元年度 (2019年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元 年度 (2019 年度)	平成 30年度 (2018年 度)		事業内容	予算規模
市民-22	農業振興運営事業	9,131	26,766	2.1	1.6	無	b	B
市民-23	市民農園事業	1,010	992	0.6	0.6	無	b	B
市民-24	水産業振興運営事業	2,530	2,043	1.2	0.6	無	b	B
市民-25	漁港施設管理事業	7,228	119,945	0.6	1.0	無	b	B
市民-26	鎌倉地域漁港対策事業	0	9,772	1.2	1.1	無	b	A
農業-01	農業委員会事務	11,217	7,022	3.1	2.1	無	b	B

(4) 主な実施内容

<p>【主な実施内容】</p> <p>◎市民生活部</p> <p>①農道2路線の予算の中で、関連部局と協議調整をして、農道3路線の土質調査が実施することができた。(市民-22)</p> <p>②第12期大船市民農園について、適正に維持管理を行うとともに、第13期に開設に向けて、利用者アンケートを実施し、日当たり等を考慮し区画の配置を変更した。(市民-23)</p> <p>③鎌倉・腰越漁業協同組合が行う養殖事業に係る経費や販売促進に係る経費等の事業費の補助金の交付、各種水産関連団体への参加等により、水産業が有する多面的機能の保全及び水産業の振興を図った。本市の水産業の振興を図るための行政計画である「鎌倉市水産業振興計画」の策定をした。(市民-24)</p> <p>④1号泊地の残土については、腰越漁港を利用している腰越漁業協同組合及び関係部局との調整を行い、漁港施設利用上支障がないため、当面、浚渫は行わず経過観察とした。(市民-25)</p> <p>⑤漁業支援施設の整備に向けて、水産庁等との協議を行うとともに、指摘された課題の解決に向けた取り組みを行った。(市民-26)</p> <p>◎農業委員会事務局</p> <p>①②利用状況調査により遊休農地を把握するとともに、鎌倉市遊休農地解消対策協議会で、新たな担い手への貸し借りへ結びつけるため、遊休農地解消に向けた復元作業を行った。(農業-01)</p> <p>③農産物の生産量及び市内での消費を高めるため、農地法違反の是正に向けて指導を行い、一部の違反地の是正を完了した。(農業-01)</p> <p>【実施できなかった事業とその理由等】</p>
--

(5) 令和元年度(2019年度)の取組の評価

◎市民生活部	
効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 要改善
<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>	
<ul style="list-style-type: none"> ・農道整備事業において、関連部局との協議調整の結果、全体的な事業費の圧縮により次年度予定していた事業の一部が実施できた。(市民-22) ・市民農園の区画変更に伴い、受益者への耕作条件の偏りが解消することができた。(市民-23) ・鎌倉の水産業に関する施策を総合的かつ効果的に推進するため、鎌倉市水産業振興計画の策定を行い、水産業の推進の方向性の確立を図った。(市民-24) ・腰越漁港の1号泊地の浚渫について、経過観察としたことは事業費の平準化が図られた。(市民-25) ・鎌倉地域の漁業支援施設の整備に向けて、水産庁等と協議を行い、指摘された課題の解決に取り組めたことは、今後の事業の推進に向けて有効なものであった。(市民-26) 	

◎農業委員会事務局

効率性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な事業費・人件費で執行できていたか	■ 適切 □ 要改善
妥当性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、妥当(適切)な取組であったか	■ 適切 □ 要改善
有効性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、適切な成果が得られていたか	■ 適切 □ 要改善
公平性	「目標とすべきまちの姿」の実現に向け、受益機会が偏っていない(適切な)取組であったか	■ 適切 □ 要改善

<上記評価の理由、改善を要する点の具体的内容等>

・遊休農地の解消においては、農業委員会・さがみ農業協同組合・市で構成する鎌倉市遊休農地対策協議会が主体となり、遊休農地の復元作業を行った。(農業-01)
 ・違反転用等の農地法違反対策として県、市の関係課、さがみ農業協同組合等と連携を図りながら、定期的に農地パトロールを行い、使用者・地権者に指導を行った。(農業-01)

3 主な事業における指標(目標ごとに1つ設定)

整理番号	市民-22	事業名	農業振興運営事業					単位	ha	指標の傾向	⇒	備考
指標の内容	遊休農地面積(市街化調整区域及び生産緑地地区)											
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	市内農地面積				
遊休農地解消の達成状況を把握するため。	目標値	-	6.2	6.1	6.0	5.9	5.8	H27 104ha				
	実績値	6.5	6.6	5.3	4.7	4.2	5.6	H28 102ha				
	達成率	-	93.9%	115.1%	127.7%	140.5%	103.6%	H29 102ha H30 100ha H31 100ha				
整理番号	市民-23	事業名	市民農園事業					単位	箇所	指標の傾向	⇒	備考
指標の内容	市民農園開設数(市直営、土地所有者開設合わせて)											
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	市民に農業への親しみや理解を深める機会を提供するため。				
	目標値	-	-	3	3	3	3					
	実績値	2	2	2	3	4	4					
	達成率	-	-	66.7%	100.0%	133.3%	133.3%					
整理番号	市民-24、25、26	事業名	水産業振興運営事業、漁港施設管理事業、鎌倉地域漁港対策事業					単位	人	指標の傾向	↘	備考
指標の内容	鎌倉、腰越両漁業協同組合の正会員数											
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	漁業活動を担っている主体であるため。				
	目標値	75	80	80	80	80	80					
	実績値	70	69	74	72	74	69					
	達成率	93.3%	86.3%	92.5%	90.0%	92.5%	86.3%					
整理番号	農業-01	事業名	農業委員会事務局					単位	ha	指標の傾向	⇒	備考
指標の内容	遊休農地面積(市街調整区域及び生産緑地)											
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	事業目標の一つである遊休農地解消の達成状況が確認できるため。				
	目標値	-	6.2	6.1	6.0	5.9	5.8	H28 102				
	実績値	6.5	6.6	5.3	4.7	4.2	5.6	H29 102				
	達成率	-	106.5%	86.9%	78.3%	71.2%	96.6%	H30 100 H31 100				
整理番号	農業-01	事業名	農業委員会事務局					単位	%	指標の傾向	⇒	備考
指標の内容	農地に占める遊休農地面積(上記)の割合(市街調整区域及び生産緑地)											
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)	事業目標の一つである遊休農地解消の達成状況が確認できるため。				
	目標値	-	6.0	6.0	5.9	5.8	5.7	H28 102				
	実績値	6.4	6.3	5.2	4.6	4.2	5.6	H29 102				
	達成率	-	105.0%	86.7%	78.0%	72.4%	98.2%	H30 100 H31 100				